

# 生物暦 Vol.14

～いきものこよみ～

国立環境研究所 生物季節観測研究チーム 2026年6月2日発行

## 1.ごあいさつ

調査員の皆様、いつも生物季節モニタリングにご協力いただきありがとうございます。6月になり、観測対象も春から夏の生き物に変わりつつあります。そろそろセミが鳴き始めますね。

## 2.これまでご報告いただいた観測データの内訳

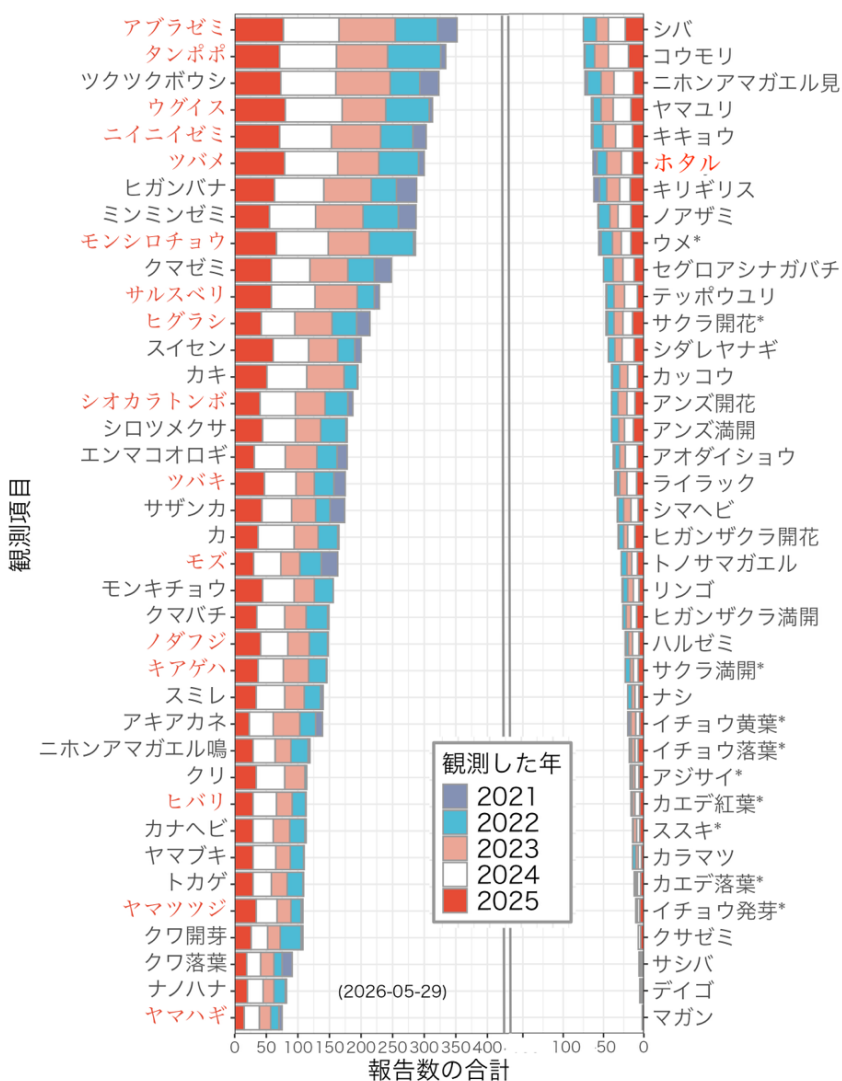
ついに観測報告数が 9,000 件を超えました。年に 2,000 件近くご報告いただいています。ありがとうございます！今回は 2021 年から 2025 年までの報告数をご紹介します。

グラフはモニタリング開始から今までの各観測項目の報告数を示したものです。赤い文字で記載した項目は重要種目、棒グラフの色は報告した年を示しています。また、\*印のついた種目は気象庁が継続して観測している項目です。

上位を占める種目は昨年とほぼ変わらず、観測報告数の最多は「アブラゼミの初鳴日」、2 位は「タンポポの開花日」、3 位は「ツクツクボウシの初鳴日」となりました。観測対象のセミは 8 種あり、観測報告数上位 10 種の中に 5 種も入っています。動物の観測数が多く、10 位以内にランクインした植物は「タンポポの開花日」と「ヒガンバナの開花日」の 2 つのみでした。

また、報告数上位の種目はあまり変化がありませんが、順位が大きく変わったものとしては、ヒガンバナが 9 位(2024 年)から 7 位に、クリが 34 位から 29 位にランクアップしました。この 2 つは観測しやすい種目ですね。

2025 年の報告数第 1 位は「ウグイスの初鳴日」80 件 (2025 年は 1 位 100 件)、2 位「ツバメの初見日」79 件 (2024 年は 5 位 84 件)、3 位「アブラゼミの初鳴日」77 件 (2024 年は 3 位 90 件) となり、ここでも動物が上位を占めていました。



活動へのご意見・お問い合わせの窓口

E-mail: [ccca\\_phenology@nies.go.jp](mailto:ccca_phenology@nies.go.jp)

Tel: 0298-50-2375 担当：松島・西廣